

令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：群馬県

農業委員会名：東吾妻町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和7年4月1日

任期満了年月日 令和10年3月31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	4
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	18	18	18

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,282
農業経営体数	476

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	572
女性	209
40代以下	33

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	64
基本構想水準到達者	129
認定新規就農者	2
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	418	1,290				1,710

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	1,710	ha	449	ha	26.2	%
課題	農業者の高齢化に加え、物価高騰と基幹作物であるコンニャクの安値などにより離農者が増えている状況下においてコンニャクやソバ生産者の利用権設定の合意解約が激増している。 一方で水稻生産者は高値取引が見込まれており、利用権設定が伸びを見せて集積率は微増の結果となった。高齢化・減少する農家数に対して、新規就農者が少ないことから耕作放棄地は増加し、非農地判断で農地を減らしても荒地の解消には繋がらない。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	7	年度	集積率	29	%
今年度の新規集積面積	51	ha	農地面積(C)	1,710	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	500	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	29.2	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	15.1	ha	農地面積(F)	1,710	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	459	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	26.8	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	91.8	%			

農業委員会の 点検結果	大口の利用権設定の途中解約があった昨年と比較し、解約面積は少なく新規集積面積は、ほぼ同面積となっているため、集積面積の集積率とも増加したが、微増であり集積面積・集積率とも目標を達成することが出来なかった。 今後も農地の遊休化防止や、農業生産性の向上のため農地集積の推進を行いたい
----------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況			
	1号遊休農地面積			
			うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	18	ha	12	ha
	中間管理機構での借り上げが難しい農地が多く、高齢化、相続による所有者の分散・不在地主化が進み、山間地や狭小農地の耕作放棄地が増加している。農地を所有していても耕作せずに管理だけしている所有者も多く、非農地判断や転用による解消はあるものの、増加の歯止めにはなっていない。			

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	11.0	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	2.2	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	2.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	県・町関係部局・農地中間管理機構等の機関と協議し、基盤整備事業の実施など黄色区分の遊休農地解消に向けた工程を策定する。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.7	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.1	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	55.0	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定していない
-------------------------	---------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.2	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期	
	7月～9月			10月～2月	
	1号遊休農地 の面積	6.9 ha	うち緑区分の遊休農地	5.2	ha
			うち黄区分の遊休農地	1.7	ha
農地の利用意向 調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期	
	2月～3月			3月～5月	

農業委員会の点検結果	昨年度と比較し、1号遊休農地の面積は減少しているが、これは営農再開ではなく、荒廃が進み再生が困難な農地に転じている事が原因となっている。農地の荒廃を防ぐには、新たに農地を必要とする新規就農者の育成が効果的であると考えます。
------------	---

(3) 新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者	
	1	経営体	2	経営体	0	経営体
	1.6	ha	3.4	ha	0.0	ha
課題	農業従事者の高齢化、後継者不足により耕作放棄地も増えている。地域農業の担い手が不足するなか、担い手受入協議会の活動を活性化し、就農フェア等に積極的な参加と受け入れ環境の整備進め新規参入者を確保していきたい。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均	
	33	ha	18	ha	17	ha	23	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)					2.3	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL		(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		%	
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	経営体
		取得農地面積	ha

農業委員会の点検結果	
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標
(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6日／月	最適化活動を行う 農業委員の人数	0人
		農地利用最適化推進委員の 人数	18人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3回
-------------	----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月～9月	遊休農地の解消	農地利用最適化推進委員会を中心に町内を18地区に分け、農業委員と共に遊休農地の消に向けた農地の見回りを実施、必要に応じ耕作者や所有者への助言を行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3回
-------------	----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
7月～9月	遊休農地の解消	農地利用最適化推進委員会を中心に町内を18地区に分け、農業委員と共に遊休農地の解消に向けた農地の見回りを実施、必要に応じ耕作者や所有者への意向調査調査・指導を実施した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和7年1月11日	相談会名	ぐんま就農FEST
参加者数		開催場所	Gメッセ群馬
相談会の内容	・次年度参入するために就農フェアへ担い手と共に参加し、県内市町村のブースや取組の視察を行った。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和8年2月8日	相談会名	ぐんま就農FEST2025
参加者数	2	開催場所	Gメッセ群馬
相談会の内容	町の担い手協議会員として農業委員より2名が参加、7名の就農希望者の相談を受けるが、相談者は具体的な就農先市町村が決まっていない者が多く、詳しい内容の相談が出来なかった。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	2
目標に対し期待を上回る結果が得られた	2
目標に対して期待どおりの結果が得られた	8
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	6

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入

Ⅲ 事務の実施状況

都 道 府 県 名：群馬県
農 業 委 員 会 名：東吾妻町農業委員会

1 総会、部会の開催実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考(定例開催以外の理由)
総会	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4月:改選後役員編成のため

※ 総会又は部会の月ごとの開催回数を記入

2 農地法第3条に基づく許可事務

1年間の処理件数		22	うち許可	22	件
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	21	日
	総会開催日の公表	公表している	申請書締切日の公表	公表している	16 日

3 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

権限移譲の状況 (当てはまるものに○)	・農地法第4条第1項の規定に基づく指定市町村に指定				
	・地方自治法第252条の17の2第1項に基づき市町村長へ事務委任				
	・地方自治法第180条の2に基づき市町村長から農業委員会へ事務委任				
1年間の処理件数		33	うち許可相当	33	件
うち不許可相当		0		件	
処理期間		標準処理期間	申請書受理から	42	日
		処理期間(平均)		42	
				日	

4 違反転用への対応

現 状	管内の農地面積	年度末時点の違反転用面積
	1,710 ha	0.3 ha
違反転用解消のために 実施した活動内容	県・町部局等、関係機関と共に働きかけを行っているが、依然改善が見られない	
実 績	違反転用解消面積 0 ha	

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 違反転用面積は、管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定に違反して転用されている農地の面積を記入

※3 活動内容は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等について具体的に記入